

考察

酸素摂取量の変化に関する考察

低強度と高強度における酸素摂取量の変化(??)を見ると、高強度で低強度より酸素摂取量が大きくなっているのが分

酸素負債に関する考察

低強度における酸素摂取量とパワーの比較(??)では負荷の漸増によって増加し 15 分時点で最大となった酸素摂取量

高強度にのみ現れている負荷漸減中の酸素摂取量の増加は、15 分時点までの負荷漸増に対応するために発生した酸素

また、増加に比べてゆるやかに減少していく変化の傾向は、高強度における酸素摂取量と心拍数の比較(??)におい

酸素摂取量のピーク位置に関する考察

低強度と高強度における酸素摂取量の比較(??)より、低強度、高強度いずれの場合においても、酸素摂取量の最大値

流量計の不安定さ

酸素摂取量の変化は大部分で換気量に追従するが、今回使用した流量計が出力する流量が不安定であることがこれらの

換気量センサーのボトルネック

最大作業の測定

測定データの利用

オープンソースハードウェア化

装置に関する考察

流量計の不安定さ

今回流量計として使用した水流センサー YF-S201 は

今回使用した酸素センサー、A-5S に使用する酸素亜鉛電池 PR44 は電圧を維持する時間が短く

体重と身長を SD カードに書くようにすればよかった